

目録 List

鳥取県・島根県の動物相に関する
文献目録 第10集 (2018年)鶴崎展巨¹・淀江賢一郎²¹ 〒680-8551 鳥取市湖山町南4-101
鳥取大学地域学部棟内 農学部動物分類学研究室

E-mail: ntsuru@tottori-u.ac.jp

² 〒690-0862 松江市比津が丘2-1-7

E-mail: shimane@sc4.so-net.ne.jp

¹Nobuo TSURUSAKI and ²Ken-ichiro YODOE (1 Laboratory of Zoological Systematics, Faculty of Agriculture, Tottori University, Tottori, 680-8551 Japan; ²Hizugaoka 2-1-7, Matsue, 690-0862 Japan): **Bibliography concerning fauna of Tottori and Shimane Prefectures, Honshu, Japan. No. 10 (2018).**

Abstract — This bibliography lists literature dealing with fauna and zoological records of the San'in District (Tottori and Shimane Prefectures) published in 2018. Some articles published before 2018 may be also included when they were missing in the previous bibliographical series.

Key words — bibliography, fauna, zoological records, Tottori, Shimane

キーワード — 島根県, 鳥取県, 動物相, 記録, 文献目録

本稿は鳥取県と島根県の動物相に関して2018年に出版された文献の注釈つきリストである(前報までに掲載もれの2017年以前の文献も含む)。

文献入手または文献情報収集等にご助力をいただいた有田 齊, 藤岡知夫, 田村昭夫, 山田 勝, 大高明史の諸氏に御礼申し上げます。

凡 例

採録範囲は, おもに鳥取県・島根県内の陸上域(沿岸の海域を含む)に生息する動物に関する記録を含む文献であるが, 両県に密接な関係があると思われるものは県外のものも対象としている。配布範囲が限られるなどで, 最初から正式公表を目的としたとは考えにくい記事(観察会で配布されるプリント, 内部的報告書, 大学のサークル・学校のクラブ等の部

内機関誌に掲載されたもの)は原則として扱わない。

鳥取県内での初記録など動物相解明の点でとくに必要と思われるものを別として, 短報やそれに類した簡略化された記録(野鳥の出現情報など)も, 積極的には拾っていない。

配列は分類群ごとの(総合/哺乳類/鳥類/両生類・爬虫類/魚類/昆虫:総合/昆虫:トンボ目/昆虫:直翅系/昆虫:半翅目/昆虫:鞘翅目/昆虫:双翅目/昆虫:膜翅目/昆虫:トビケラ目/昆虫:鱗翅目/クモガタ類/甲殻類/軟体動物/その他の無脊椎動物), 著者のアルファベット順である。どちらの県に関係するかは, 個々の文献の末尾に角かっこ([])内に記す。市販されているものについては価格を記した。スラッシュ(/)以下は要旨あるいはコメントである。

NT = 鶴崎展巨, KY = 淀江賢一郎。

【総 合】

加本恂二・細田和男・山口勝秀・寺岡誠二・中畑勝見 (2018) 沢池の環境再生 (6日目). 平成29年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財)ホシザキグリーン財団, pp. 1-23. / 雲南市大東町山王寺頂上付近, 松江市玉湯町の境にある「うしおの沢池」での環境再生の記録。[島根県]

一澤 圭・太田悠造・田邊佳紀・榊山 匠・川上 靖 (2018) 鳥取県沿岸と周辺海域で記録された海洋動物 (2014年~2017年) — 鯨類, 鰭脚類, ウミガメ類, その他特筆すべき海洋動物について — 鳥取県立博物館研究報告, No. 55, pp. 9-15. / 2014-2017年に鳥取県沿岸と周辺海域で記録されたクジラ類, アザラシ類, ウミガメ類の情報をまとめたもの。ミンククジラ, ハナゴンドウ, カマイルカ, ハンドウイルカ, オウギハクジラ, キタオットセイ, アオウミガメ, アカウミガメ, タイマイ, ヒメウミガメ, ナグユメタチモドキ, リュウグウノツカイ, サケガシラ, シャチブリ, ヤリマンボウ, ジンベエザメ, アオザメ, ダイオウイカ。[鳥取県]

鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2018) 鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第8集 (2016年) 山陰自然史研究, No. 15, pp. 49-57. [島根県・鳥取県]

鶴崎展巨・淀江賢一郎 (2018) 鳥取県・島根県の動物相に関する文献目録 第9集 (2017年) 山陰自然史研究, No. 15, pp. 49-57. [島根県・鳥取県]

【哺乳類】

小林朋道 (2018) ユビナガコウモリおよびコテングコウモリにおけるフクロウの鳴き声の認知と忌避行動, 山陰自然史研究, No. 15, pp. 1-5. / ユビナガコウモリは鳥取県八頭町日田の遠見山中腹の廃坑で捕獲 (2016.4)。コテング

コウモリは智頭町芦津の沖ノ山の中腹のスギ林で捕獲 (2016.5)。[鳥取県]

小林朋道 (2018) 鳥取県内における洞窟性コウモリの生息状況。鳥取県立博物館研究報告, No. 55, pp. 1-7. / 鳥取県内の人工および天然洞窟でコウモリの生息状況を踏査して 25 か所でコウモリの生息を確認。コキクガシラコウモリ, キクガシラコウモリ, モモジロコウモリ, ユピナガコウモリ, テングコウモリの生息を確認。それぞれの種の生息環境, 越冬状況などについての考察がある。[鳥取県]

大畑純二 (2018) 鳥根県江津市の砂質地域に生息するホンドキツネの自然誌。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 15-34. / 江津市の海岸線には黒松・浅利砂丘, 江の川河口, 都野津・二宮砂丘 (敬川河口付近), 波子・久代砂丘などの砂質海岸が続いている。著者はここで 40 年以上にわたって野生生物調査を行っている (前・三瓶自然館学芸課長)。本報ではホンドキツネの営巣地環境, 巣穴, 食性, 子育てなどについて豊富な観察例を図示して詳細に紹介。[鳥根県]

【鳥類】

深谷 治 (2018) 隠岐諸島の中ノ島におけるウミウの繁殖の初記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 133-137. / 中ノ島でのウミウの繁殖記録。隠岐諸島では 60 年ほど前に西ノ島と知夫里島と繁殖記録があって以来のこと。[鳥根県]

深谷 治・市橋直規 (2018) 隠岐諸島におけるミヤマホオジロ *Emberiza elegans* の定期的繁殖。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 295-296. / 隠岐諸島の中ノ島と西ノ島で 2015 年から 3 年連続で繁殖を記録。[鳥根県]

星野由美子 (2018) 鳥根県雲南市におけるコウノトリ *Ciconia boyciana* の繁殖に関する観察記録。鳥根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 69-73. / 雲南市で営巣したコウノトリを 71 日間 (2017 年 3 月 22 日～5 月 31 日) にわたって親鳥の行動, ヒナへの給餌などをビデオ撮影。そのうち 41 日間のデータを解析した行動記録。[鳥根県]

市橋直規・米田重玄・山 智子 (2018) 春の美保関における渡り鳥の長期標識調査報告。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 273-280. / 27 年間の標識調査の記録。[鳥根県]

桐原佳介 (2018) 鳥取県米子市におけるカラムクドリの山陰地方初記録。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 245-246. / 米子市彦名町の農耕地で 2016.10.30 に発見されたカラムクドリの記録。山陰地方初記録。[鳥取県]

山田 勝 (2015) 岡山県におけるジョウビタキの繁殖。日本鳥学会誌, 64: 91-94. / 岡山県真庭郡新庄村幸町での繁殖記録 (2014 年)。

【両生類・爬虫類】

藤田宏之・寺岡誠二 (2018) 鳥根県出雲市における放棄水田ビオトープで確認された両生類 (II)。ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 87-90. / 合計 10 種を記録。[鳥根県]

金築ゆうこ・小林浩司 (2018) 松江市の河川で発見された体型が変形したミシシippiaアカミミガメについての考察。平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 85-87. [鳥根県]

金築ゆうこ・小林浩司 (2018) 鳥根県雲南市にて発見されたニホンイシガメとクサガメの交雑個体について。平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 89-90. [鳥根県]

小林浩司, 2018, 出雲市斐川町興林寺カメ類調査 (2017) 平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 91-94. [鳥根県]

Yoshikawa, N., Matsui, M., Tanabe, S., & Okayama, T. (2013) Description of a new salamander of the genus *Onychodactylus* from Shikoku and western Honshu, Japan (Amphibia, Caudata, Hynobiidae). *Zootaxa*, 3693: 441-464. / これまでハコネサンショウウオとされてきていた四国産のサンショウウオを新種シコクハコネサンショウウオ *Onychodactylus kinneburi* Yoshikawa, Matsui, Tanabe, & Okayama 2013 とし記載。タイプ産地は高知県伊野町。中国地方にはハコネサンショウウオ *O. japonicas* (Houttyn) に加えて, シコクハコネサンショウウオも分布。ハコネサンショウウオの検討標本として鳥取県産 (岩美町, 琴浦町), 鳥根県産 (奥出雲町) も使用されている。シコクハコネサンショウウオが発見されているのは岡山県鏡野町, 広島県冠山, 十方山, 山口県 (寂地山)。[鳥根県・鳥取県]

小林浩司 (2018) 松江比津川にて捕獲したツリガネムシに寄生されたニホンイシガメ。平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 79-81. [鳥根県]

小林浩司 (2018) 冬期における松江比津川のアカミミガメ。平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 75-78. / 人工堰堤に冬期にもアカミミガメの上陸を確認。[鳥根県]

小林浩司・寺岡誠二 (2018) 松江市内の河川で確認されたカメ類の欠損個体について。平成 29 年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 67-74. / アカミミガメ 5.2%, クサガメは 12.1%, ニホンイシガメ 33.3% が欠損個体。[鳥根県]

【昆虫：総合】

中村慎吾・政倉 誠 (2018) 庄原市立比和自然科学博物館へ収蔵された鍵掛峠の昆虫類. 庄原市立比和自然科学博物館標本資料目録, No. 18, pp. 1-44. / 広島県西城町～鳥取県日南町を結ぶ 183 号線のバイパス建設事業にともなう環境調査から 2017 年に行われた昆虫調査結果. 606 種. ラベルは単に「日南町」とある. 日南町は広い町なのだが具体的な調査地点は明示してない. 広島県側の調査地点は 1950～70 年代には良好な湿原が拡がり良好な採集地として知られていたところである. 私自身も 1973 年にヒョウモンモドキ, ウスイロヒョウモンモドキ, ヒメヒカゲ, ヒメシジミなどを採集した. その後, このあたり一帯は広大なクロスカントリー場に開発され湿地はほぼ埋め尽くされた. この調査では湿原性チョウ類は 1 種も採集されていない (KY). [鳥取県]

林 成多・片岡大輔・篠原隆佑・坂井 誠 (2018) 鳥根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園における土壌動物生息調査 (2016 年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 53-66. / 土壌性ダニ, トビムシ目, 鞘翅目の合計 110 種. [鳥根県]

林 成多・吉富博之 (2018) 鳥根県の湿岩昆虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 27-36. / 鳥根県内で, 垂直に近い斜面の岩盤上を流れる流水環境である湿岩, 「別名石清水」上の昆虫相の総説. 40 種を記録. [鳥根県]

泉 洋平 (2018) 鳥根県松江市および安来市における蜜柑を害する昆虫種の調査. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 139-141. / 2017 年の調査で 14 科 20 種 (うち 3 種はダニ類) 確認. [鳥根県]

林 成多 (2018) 鳥根県雲南市吉田町杉戸林道 (吉田川) の流水性水生昆虫. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 281-282 / 大万木山を源流とする吉田川上流での流水性水生昆虫. 2016.4.12. [鳥根県]

【昆虫：トンボ目】

樋野耕一 (2018) 2017 年に記録した出雲地方のトンボ. すかしば, No. 65, pp. 5-10. / おもに出雲市で 2017 年に採集された 39 種のトンボの記録. [鳥根県]

北山 拓 (2018) 2017 年の鳥根県・鳥取県における飛来赤トンボの記録. すかしば, No. 65, pp. 19-21. / 2017 年, 鳥根県ではオナガアカネ多数とスナアカネ, タイリクアキアカネ少数, 鳥取県ではスナアカネ♂ (境港市) を記録. スナアカネは鳥取県からの初記録. [鳥根県・鳥取県]

北山 拓 (2018) 隠岐諸島からスナアカネを初記録. すかしば, No. 65, p. 22. / 隠岐諸島からのスナアカネの初記録 (隠岐の島町北方, 2017.10.17, 1♂1♀). [鳥根県]

北山 拓・林 成多・大浜祥治 (2018) 鳥根県に生息するトンボ目の目録と生態写真集. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 22, pp. 1-116. / 鳥根県から記録されているトンボ目 92 種の総目録. 鳥根県の本土東部, 本土西部, 隠岐諸島の島ごとの各種の生息の有無の表がある. 全種について生態写真がある. 多くの種で飛行中の写真も掲載されている. 一部であるが, 鳥取県で撮影された写真も使用されている: キイトンボ (日野町), ミルンヤンマ (大山山麓), オオルリボシヤンマ (江府町鏡ヶ成), ハネビロエゾトンボ (大山山麓), スナアカネ (境港市佐斐神町), ナツアカネ (境港市佐斐神町). [鳥根県]

國本洗紀 (2018) 鳥取県中部地区でサラサヤンマを採集. ゆらぎあ, No. 36, p. 23. / 鳥取県中部新記録 (倉吉市). [鳥取県]

大浜祥治 (2018) 松江市の市街地でセスジイトンボが大発生. すかしば, No. 65, p. 40. / 松江市城山のお堀などで 2017 年に多数発生した. [鳥根県]

【昆虫：直翅系】

國本洗紀 (2018) 鳥取県中部地区でウスグモズを確認. ゆらぎあ, No. 36, pp. 23-24. / 外来種ウスグモズの鳥取県中部新記録 (倉吉市打吹山山麓). [鳥取県]

【昆虫：半翅目】

林 成多 (2018) 鳥根県におけるヒラズキジラミの虫えいの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 286. / コウガイゼキショウ (イグサ科) に虫こぶを確認. これまで虫こぶは鳥根県内では未確認だった. [鳥根県]

林 成多・門脇久志 (2018) 隠岐諸島で採集した半翅類の記録と隠岐諸島産カメムシ目仮目録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 297-316. / 24 種が隠岐諸島から初記録. [鳥根県]

樋野耕一 (2018) 峯寺 (雲南市三刀屋町) でヒメハルゼミを採集. すかしば, No. 65, pp. 5-10. / 雲南市三刀屋町給下の峯寺遊山荘 (2017.7.30, 1♂). [鳥根県]

【昆虫：鞘翅目】

秋山美文 (2018) 庄原市立比和自然科学博物館に寄贈された渡部泰明氏採集の甲虫標本及び中本實・修氏採集の甲虫標本. 庄原市立比和自然科学博物館標本資料目録, 18: 45-74. / 江津市のヒョウタンゴミムシ, ガムシ, 三瓶山のクロエンマムシ, イブシエンマムシ, オオセンチコガネ, オオフタホシコガネ, ヨツボシマグソコガネ, ゴホンダイコク, ダイコクコガネ, カドマルエンマコガネが含まれる. [鳥根県]

- 福田侑記・小川 遼 (2018) 多鯨ヶ池 (鳥取県鳥取市) におけるハンミョウ類 3 種の再発見. 山陰自然史研究, No. 15, pp. 35-40. /ハンミョウの生息記録のとだえていた鳥取市多鯨ヶ池で 2017 年に, カワラハンミョウ, エリザハンミョウ, コハンミョウを確認. [鳥取県]
- 林 成多 (2018) 鳥根県東部で減少が著しい水生甲虫類. すかしば, No. 65, p. 16. / 2010 年から減少傾向がみられる水生甲虫 への注意喚起: ミズスマシ, オオミズスマシ, ケシゲンゴロウ, ツブゲンゴロウ, ウスイロシマゲンゴロウ, ゴマフガムシの 6 種. [鳥根県]
- 林 成多 (2018) 山陰地方のヒメドロムシ. 昆虫と自然, 53(8): 5-8. /山陰地方のヒメドロムシのレビュー. ヒメドロムシ相, 流程分布, 生息環境, 生活史, 幼虫期などについて注目される点がまとめられている. [鳥取県・鳥根県]
- 林 成多 (2018) 鳥根県におけるアラメエンマムシの記録と生態的知見. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 79-86. /鳥根県からはこれまで 31 種のエンマムシ科が記録されているが, 未記録のアラメエンマムシを新たに記録. 大田市三瓶町, 2017.9.26. [鳥根県]
- 林 成多・緋田祐太 (2018) フタコブルリハナカミキリの鳥根県雲南市における記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 293-294. /雲南市木次町ふるさと尺の内公園 (2017.5.11, 2ex.). 鳥根県内では最北の記録. [鳥根県]
- 林 成多・門脇久志 (2018) 隠岐諸島の甲虫類目録 補遺 (2012-2016). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 1-26. /隠岐諸島産の甲虫 として 113 種を追加. これにより隠岐諸島産の甲虫 は疑問種を含め 1187 種になったとのこと. 2012 年以降, 隠岐諸島をタイプ産地として記載された種 6 種もまとめられている. [鳥根県]
- 林 成多・片岡大輔・篠原隆佑 (2018) 鳥根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園における訪花性昆虫調査 (2016 年). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 37-52. /鱗翅目 5 科 28 種, 双翅目 25 科 65 種, 膜翅目 21 科 66 種を記録. [鳥根県]
- 日暮卓志 (2018) ヤマトケシマガソコガネの鳥取市における追加記録. すかしば, No. 65, p. 31. /鳥取市賀露町 (2000.10.21, 60 ex.), 鳥取市浜坂 (2012.5.13, 10 ex.). [鳥取県]
- 星川和夫 (2018) ヤスマツケシタマムシを鳥取県で採集. すかしば, No. 65, p. 40. /山陰地方からは未記録らしいヤスマツケシタマムシを倉吉市円谷で採集 (2017). [鳥取県]
- Kai, T. & Yoshitomi, H. (2018) A revision of *Pseudopyrochroa* (Coleoptera: Pyrochroidae: Pyrochroinae) from Japan. Japanese Journal of Systematic Entomology, 24: 175-220. /アカハネムシ科アカハネムシ属の分類学的改訂. 次の種の検討標本に鳥根県と鳥取県の記録が含まれる: *Pseudopyrochroa brevitarsis* (Lewis, 1887) ミゾアカハネムシ (隠岐海士町金光寺山), *Pseudopyrochroa japonica* (Heyden, 1879) オニアカハネムシ (鳥後元屋, 船通山, 松江, 西ノ島), *Pseudopyrochroa laticollis* (Lewis, 1887) ムナビロアカハネムシ (大東町ほか多数), *Pseudopyrochroa peculiaris* (Lewis, 1887) ウスイロアカハネムシ (船通山など) *Pseudopyrochroa rufula* (Motschulsky, 1866) ヒメアカハネムシ (木次町尺の内公園など), *Pseudopyrochroa vestiflua* (Lewis, 1887) アカハネムシ (木次町尺の内公園など); *Pseudopyrochroa flavitabris* Blair, 1914 ムナグロオニアカハネムシ (伯耆町) *Pseudopyrochroa japonica* (Heyden, 1879) オニアカハネムシ (大山, 大山二ノ沢), *Pseudopyrochroa laticollis* (Lewis, 1887) ムナビロアカハネムシ (江府木谷沢町), *Pseudopyrochroa peculiaris* (Lewis, 1887) ウスイロアカハネムシ (大山三ノ沢など) *Pseudopyrochroa rufula* (Motschulsky, 1866) ヒメアカハネムシ (江府町木谷沢) *Pseudopyrochroa vestiflua* (Lewis, 1887) アカハネムシ (伯耆町小林など). [鳥取県・鳥根県]
- 越山洋三 (2018) 鳥根県浜田市におけるベーツヒラタカミキリの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 292. /浜田市殿町 (2016.8.2, 1 ♀). [鳥根県]
- 皆木宏明 (2018) 鳥根県西部で確認したウスバカミキリについて. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 65-66. /鳥根県で観察例の少ないウスバカミキリの採集記録. 2016 年 9 月 25 日, 江津市後地町. [鳥根県]
- 皆木宏明 (2018) 鳥根県におけるカワラハンミョウの分布状況について. 鳥根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 41-46. /本種は 2012 年に鳥根県希少野生動物の保護に関する条例により, 許可なく採集が禁止されている. 2014 年以降の継続調査により, 江の川河口, 国分久代海岸, 浅利黒松海岸, 益田川河口などで生息が確認された. [鳥根県]
- Murakami, H. (2018) Review of the genus *Thanasimus* (Coleoptera: Cleridae) from Japan. Journal of Systematic Entomology, 24: 111-116. /日本産のカッコウムシ科 *Thanasimus* 属のレビュー. アリモドキカッコウムシ *T. substriatus* の材料に鳥根県隠岐 (隠岐の島町布施) の標本が含まれる. [鳥根県]
- 久米加寿徳 (2018) ヒメゾウムシ亜科 6 種の記録. へりぐろ, No. 39, pp. 37-38. /鳥取県大山からチビツヤハダヒメゾウムシ, イラクサヒメゾウムシを記録. いずれも 2016 年に記載された種である. [鳥取県]
- 鳥羽明彦・前田健太・竹下結斗 (2018) 2017 年 8 月隠岐西ノ島 (爺・孫) 採集記. 16 pp. 西昆落書帳別冊. 400 円 / 2016 年 7 月 4 ~ 9 日および 2017 年 8 月の主に甲虫採集記録. アオハナムグリとマイマイカブリが狙いだったよう. チョウウ, バッタ, カメムシも少々含まれる. [鳥根県]
- 鶴崎展巨・唐沢重考・石川智也・猪野真也・岸田由幹・白岩颯一郎・千葉悠輔・服部理貴・福井二葉・武藤 諒 (2018)

エリザハンミョウ鳥取砂丘集団の急激な個体数減少—
2017年の標識再捕調査結果—。山陰自然史研究, No. 15 pp.
7-14. [鳥取県]

【昆虫：双翅目】

- 林 成多 (2017) 島根県産ブユ科の同定と分布. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, No. 21, pp. 1-122. / 島根県から記録されているブユ科 26 種の総説。[鳥取県]
- 林 成多 (2018) 島根県東部の流水環境に生息するオドリバエ科成虫 3 種の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 281-282. / ゲイシャイミヤクオドリバエ, ケズネイミヤクオドリバエ, ハイイロケミヤクシブキバエの 3 種の記録。いずれも島根県初記録。[鳥取県]
- Maeta, Y. (2018) Appropriate scientific names for two Japanese species of the genus *Thecophora* (Diptera, Conopidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 208. [鳥取県]

【昆虫：膜翅目】

- 林 成多 (2017) 島根県産アリ科生態写真集. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, 20: 1-98. / 島根県産のアリ 82 種のうち写真のない 22 種をのぞく 60 種の写真集。[鳥取県]
- 干村隆司 (2018) 日吉津海岸のハチ. すかしば, No. 65, p. 48. / 鳥取県日吉津村日吉津海岸でのハチ 3 種の写真つき記録: キアシハナダカバチモドキ (2008.7.20), キヌゲハキリバチ (2016.7.20), ホシトガリハナバチ (2016.7.21)。[鳥取県]
- Watanabe, K., Taniwaki, T., Kasparyan, D. R. (2018) Revision of the tryphonine parasitoids (Hymenoptera: Ichneumonidae) of a beech sawfly, *Fagineura crenativora* Vikberg & Zinovjev (Hymenoptera: Tenthredinidae: Nematinae). Entomological Science, 21(4): 433-446. / *Eridolius tanzawanus* sp. nov. (タイプ産地: 神奈川県丹沢山) の検討標本の中に鳥取県大山の標本が含まれる。1F, 鳥取県大山, 9.vi.1981, T. Goto leg. *Exyston elongatus* Watanabe et al.; 2018 (タイプ産地: 神奈川県丹沢山天応寺尾根) 1F, 鳥取県大山, 9.vi.1981, H. Takemoto leg. (NIAES); 1M, 同一産地, 12.vi.1982, Y. Shono leg. (NIAES); 1F, 同一産地, 30.v.1983, S. Yoshimatsu leg. (NIAES)。[鳥取県]
- Maeta, Y. (2018) Reproduction of *Megachile rotundata* in greenhouse and field (Hymenoptera, Megachilidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 219-229. [鳥取県]
- 前田泰生 (2018) 釣鉢に営巣したクズハキリバチ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 199-207. / 松江市東津田町で 2017 年に見つけたクズハキリバチ営巣場所での知見。[鳥取県]
- Maeta, Y. & Sasaki, Y. (2018) Diurnal activity of *Megachile rotundata*

in the greenhouse and field with comparison of the pollination ability among megachilid bee species in alfalfa (Hymenoptera, Megachilidae). ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 219-229. [鳥取県]

- 前田泰生・宮永龍一 (2018) ケブカコシブトハナバチの若干の生態的知見. 中国昆虫, No. 31, pp. 7-12. / 農家の土蔵や土堀, 切り通し斜面などに集団営巣するケブカコシブトハナバチについての調査。松江市忌部町の切り通し斜面に営巣された巣 (1982 年 10 月 28 日) と松江市菅田町の林縁部の斜面に営巣された巣 (1986 年 1 月 7 日) が材料。[鳥取県]
- 前田泰生・佐々木陽一 (2018) ハナバチ類における労働寄生蜂の寄生様式と寄生効率. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 169-197. [鳥取県]
- 皆木宏明 (2018) 島根県で初確認されたチャイロスズメバチについて. 島根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 67-68. / 大東町の民家で燻煙式殺虫剤を使用したあと残されていた死骸が三瓶自然館に持ち込まれたもの。2017 年 7 月, 大東町飯田。島根県初記録だという。[鳥取県]

【昆虫：鱗翅目】

- 有田 斉・前田善広 (2018) 珠玉の標本箱 日本産蝶類標本写真およびデータベース (18) ジャノメチョウ亜科 (4). ヤマキマダラヒカゲ, キマダラモドキ, クロヒカゲモドキ. 84 pp. NRC 出版. / 全国各地の多数の標本が図示されているが, 鳥取・島根からはクロヒカゲモドキ 1 個体のみ (浜田市三階山, 1991 年 8 月 21 日)。キマダラモドキのきれいな分布図も付されているが鳥取県はあいまいな扱いになっている。ヤマキマダラヒカゲは解説がない。鳥取県・島根県では蝶類でさえまだまだ分布調査が必要であることを痛感させる。(KY) [鳥取県・島根県]
- 緋田祐太 (2018) 島根県東部でリュウキュウムラサキを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 138. [鳥取県]
- 筆谷憲一 (2018) ススキの草間の夕日のあたる草の葉にとまったウラナミジャノメ (♀) 写真. すかしば, No. 65, 表紙と見返し. / 松江市美保関町美保関灯台付近の草地 (2017.6.13, 1 ♀) の写真。[鳥取県]
- 筆谷憲一 (2018) ゼフィルスたちとの出会いを求めて. すかしば, No. 65, pp. 12-15. / 島根県東部, 鳥取県西部, 岡山県北部からのゼフィルス類の記録。[鳥取県]
- 藤岡知夫 (2018) 藤岡知夫蝶類コレクションリスト 10 シジミチョウ科. 2. 86 pls.+71 pp. 北川朝生編, 日本蝶類研究所発行. / チョウセンアカシジミ 619, ムモンアカシジミ 323, ウラキンシジミ 1810, アカシジミ 1518, カシワアカシジミ 244, ウラナミアカシジミ 1189, ミズイロオナガシジミ 2042, ウスイロオナガシジミ 1068, オナガシジミ

- 739, ダイセンシジミ 980, ウラクロシジミ 695, コンゴウシジミ 142, チョウセンメスアカシジミ 59 など, 13 種 11981 個体の標本箱写真とラベルデータ。鳥取県産, 島根県産ともに多く含まれている。[鳥取県・島根県]
- 藤岡知夫 (2018) 藤岡知夫蝶類コレクションリスト 11 シジミチョウ科 3. 64 pls.+50 pp. 北川朝生編, 日本蝶類研究所発行。/ 主な種類はアイノミドリシジミ 1495, メスアカミドリシジミ 1486, ヒサマツミドリシジミ 487, キリシマミドリシジミ 703, フジミドリシジミ 690, ミドリシジミ 1204, ほかに海外産ゼフィルスなど, 7 種 7659 個体の標本箱写真とラベルデータ。多くの鳥取県産, 島根県産が含まれている。[鳥取県・島根県]
- 原田樹雄・中村慎吾 (2018) 庄原市立比和自然科学博物館へ収蔵された清水則昭氏採集蝶類標本。庄原市立比和自然科学博物館標本資料目録, (18): 75-98. / 倉吉市中河原のシルビアシジミが含まれる (標本商からの購入品)。[鳥取県]
- 橋本秀明 (2018) 鳥取市青谷町山根でミスジチョウを採集。ゆらぎあ, No. 36, p. 27. / ミスジチョウ (鳥取市青谷町山根)。[鳥取県]
- 干村隆司 (2018) クロコノマチョウの報告 (2017 年)。すかしば, No. 65, p. 48. / 日野町黒坂黒坂小学校 (2017.10.9), 大山町赤松 (2017.10.13)。[鳥取県]
- 星川和夫 (2018) トラフシジミの生活史 (1) 発育有効温度と臨界日長。すかしば, No. 65, pp. 41-46. / 2017 年 4 月 25 日に倉吉市打吹山で採集したトラフシジミ 1 ♀から採卵した材料を用いた本種の生活史の調査。[鳥取県]
- 國本洗紀 (2018) スイレンを食べるセスジズメ幼虫。ゆらぎあ, No. 36, p. 32. / スイレンを食していたセスジズメ幼虫 (倉吉市新町)。[鳥取県]
- 國本洗紀 (2018) ミスジチョウ幼虫の威嚇行動。ゆらぎあ, No. 36, pp. 28-29. / ミスジチョウ (倉吉市打吹公園)。[鳥取県]
- 國本洗紀 (2018) ムラサキシジミの越冬幼虫。ゆらぎあ, No. 36, p. 30. / 倉吉市打吹山で 1 月に活動していた終齢幼虫の記録。[鳥取県]
- 松田隆嗣・大對桂一・新部一太郎 (2018) 山陰地方におけるハマゴウノメイガの分布と生息の状況。すかしば, No. 65, pp. 1-4. / 島根県レッドリストで情報不足として掲載されているハマゴウノメイガの生息調査。島根県 (隠岐諸島を含む) ではハマゴウの確認された 20 カ所のうち 12 カ所で本種を確認。鳥取県では 3 地点のうち 2 地点 (米子市弓ヶ浜, 北栄町北条海岸) で確認。[島根県, 鳥取県]
- 松井悠樹 (2018) 鳥取県初記録となるナマリキシタバとカバフキシタバを採集。ゆらぎあ, No. 36, pp. 4-5. / ナマリキシタバ (鳥取県新記録: 若桜町諸鹿), カバフキシタバ (鳥取県新記録: 氷ノ山)。[鳥取県]
- 松井悠樹 (2018) 鳥取県初記録となるマエジマアカフキヨトウを採集。ゆらぎあ, No. 36, pp. 11-12. / マエジマアカフキヨトウ (鳥取県新記録: 若桜町諸鹿; 若桜町広留野, 江府町大山鉤掛峠付近)。[鳥取県]
- 松井悠樹・山岸瑞樹・中 秀司 (2018) ワタナベカレハは鳥取県東部山地で多産する。ゆらぎあ, No. 36, pp. 12-13. / ワタナベカレハ (鳥取県東部新記録: 氷ノ山, 八頭町安井宿安部小学校, 八頭町徳丸, 若桜町広留野, 鳥取市国府町雨滝, 鳥取市安蔵) [鳥取県]
- 三島昭一 (2018) 2017 年島根県・鳥取県におけるアサギマダラ移動情報。すかしば, No. 65, pp. 17-18. / アサギマダラのマーク個体にに基づく鳥取県大山 (2017.7.29) から愛媛県西予市 (2017.9.26), 長野県大町市 (2017.9.30) から島根県浜田市 (2017.11.9) への移動の記録。[島根県, 鳥取県]
- 三島秀夫 (2018) 島根県で採集されたガ数種について。島根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 61-64. / 三瓶自然館で保管している標本から。アセビツバメスガ, マエモンキエダシヤク, キタウンモンエダシヤク, ウスイロキヨトウが島根県初記録。[島根県]
- 宮野昭彦・各務一夫・谷田昌也・澁江賢一郎 (2018) 第 32 回六虫会で採集された蛾類 (島根県裏匹見峡), すかしば, No. 65, pp. 23-27. / 2017 年 10 月 14-15 日の益田市裏匹見峡でのガ類の 14 科 86 種の記録。[島根県]

【クモガタ類】

- 福田みずほ・田口志奈・三浦早喜・遠藤颯之介・筒井雪未・畑 翔太・森田美貴子 (2018) 鳥取県東部におけるクロガケジグモのさらなる分布拡大と在来種への影響 (2017 年の調査結果)。山陰自然史研究, No. 15, pp. 25-34. / 2017 年夏の分布調査。分布範囲は 2014 年よりさらに拡大した。[鳥取県]
- 鶴崎紗礼・鶴崎展巨 (2018) 外来種クロガケジグモの鳥取市における分布拡大と在来種への影響。山陰自然史研究, No. 15, pp. 15-23. / 鳥取市における 2014 年夏の分布状況。[鳥取県]

【甲殻類】

- 張 成年・柳本 卓・丸山智朗・池田 実・松谷健明・大貫貴清・今井 正 (2018) スジエビ *Palaemon paucidens* の遺伝的分化。日本生物地理学会会報, No. 73, pp. 1-16. / 淡水性のスジエビについてミトコンドリア DNA の 16SrDNA 遺伝子の塩基配列を用いて系統解析をおこなったところ A, B, C の 3 系統が識別された。山陰はタイプ A のみ (島根県は隠岐を含む 7 集団鳥取県 1 集団) だが, 京都府と兵庫県の本海側の 2 地点はタイプ B となっている。全国的には両者の分布は入り乱れているようで, 別種であることが示唆される (NT)。[島根県, 鳥取県]

- 林 成多 (2018) サクラの花弁を捕食するアメリカザリガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 96. / 雲南市木次町ふるさと尺の内公園でアメリカザリガニが水面に浮いているサクラの花弁を摂食しているのを観察 (2017.4.15). [島根県]
- 林 成多 (2018) 松江堀川のヨツバコツブムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 254. / 松江市堀川の川底の泥岩に穿孔していた。2016.12.7. [島根県]

【陸貝類】

- 深谷 治・福田貴之 (2018) 隠岐諸島・中ノ島で初記録のヒメナミギセル. 島根県立三瓶自然館研究報告, No.16, pp. 35-36. / 隠岐諸島・島後では記録のあったヒメナミギセルを中ノ島で発見。島後産と比べて著しく矮小化しているという。[島根県]
- 増野和幸・川野敬介 (2018) 島根県における陸産貝類の生息調査, 特に微小種を中心として. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, pp. 103-132. / 16科70種を確認。うち2種は未記載種とのこと。[島根県]

【その他の無脊椎動物】

- Furuya, H. (2018) Eleven new species of Dicyemids (Phylum Dicyemida) from *Octopus longispadiceus* and *O. tenuicirrus* (Mollusca: Cwphalopoda: Octopoda) in Japanese Waters. *Species Diversity*, 23: 143-179. / クモダコ *Octopus longispadiceus* とツノモチダコ *Octopus tenuicirrus* に寄生するニハイチュウの11新種記載。次の2種は鳥取市賀露がタイプ産地: *Dicyemnea acetabulum* (賀露沖の水深200m, ホストはクモダコ), *Dicyemnea megalosomum* (賀露沖の水深200m, ホストはクモダコ)。 *Dicyemnea acetabulum* は他に島根県大田市と新潟県でも採集。 *Dicyemnea megalosomum* は他に富山市岩瀬, 島根県大田市, 新潟県糸魚川市能生でも採集されている。鳥取市賀露では他に, *Dicyema cryptocephalum* (タイプ産地は新潟県能生,

ホストはクモダコ), *Dicyemnea mcconnaugheyi* (タイプ産地は新潟県能生, ホストはクモダコ), *Dicyemnea anteroneucleatum* (タイプ産地は新潟県糸魚川市能生, 寄主はクモダコ), *Dicyemnea leptocephalum* (タイプ産地は新潟県能生, 寄主はクモダコ) の4種も見つかっている。島根県大田市では, *Dicyemnea acetabulum* のほか, *Dicyema cryptocephalum*, *Dicyemnea mcconnaugheyi*, *Dicyemnea anteroneucleatum*, *Dicyemnea megalosomum*, *Dicyemnea leptocephalum* も採集されている。[鳥取県・島根県]

- 林 成多 (2018) 松江堀川のシロカイメン. ホシザキグリーン財団研究報告, No. 21, p. 78. / 汽水域に生息する淡水海綿であるシロカイメンを松江市堀川で記録 (2016.12.7)。[島根県]
- 一澤 圭・矢田貝繁明 (2018) 鳥取県における外来種マツモトカイメンの初報告および稀産種シロカイメンの確認記録. 山陰自然史研究, No. 15, pp. 46-48. / 外来種のマツモトカイメンは大山町赤松地内の溜池で2017年に確認。シロカイメンは湖山池で2016年の確認。[鳥取県]
- 小林浩司 (2018) 松江市比津川にて捕獲したクサガメに寄生したヌマエラビル. 平成29年度ホシザキグリーン財団環境修復プロジェクト報告書, (財) ホシザキグリーン財団, pp. 83-84. [島根県]
- 久保田 信・土生伸吾 (2018) 島根県と和歌山県で発見された稀少なハナウスラヒトデ (棘皮動物). 日本生物地理学会会報, No. 72, pp. 226-228. / 稀少なヒトデであるハナウスラヒトデ (=ハナヒトデ) の和歌山県と島根県からの記録。島根県記録は1989年に隠岐諸島で採集されたもの。[島根県]

- 鳥取・島根両県内をタイプ産地として報告された種**
Dicyemnea acetabulum Furuya, 2018 (賀露沖の水深200m, ニハイチュウの1種. ホストはクモダコ).
Dicyemnea megalosomum Furuya, 2018 (賀露沖の水深200m, ニハイチュウの1種. ホストはクモダコ).